

整理 No.	01	分類	「石炭灰」	
会社名	株式会社 安藤・間			
担当者	技術本部 高木、林、齋藤、坂本			
連絡先	TEL	029-858-8813	FAX	029-858-8840
	E-mail	Takagi.ryoichi@ad-hzm.co.jp		
技術の名称	アッシュクリート Type II (AC-II)			
概要 (150字程度)	アッシュクリート Type II は、石炭灰を大量に用いて製造した、土壌環境基準値をクリアした安全な材料です。維持管理が不要で、長期的に安定した強固な人工地盤や路盤を造成することが可能です。バッチングプラントで練り混ぜた材料を施工現場に運搬・敷き均した後に、現位置で超流体力工法による締固めを行うことで、大規模施工も可能です。			
技術登録等	建材試験センター：環境主張建設資材の適合証明（省資源型 1 級，環境保全型 1 級）			
技術の概要	<p>アッシュクリートは骨材として石炭灰（フライアッシュ）を大量に利用した硬化体で、石炭灰、セメント、少量の水の混練材料を外部振動により流体化させて固化させて製造するものです。この製造方法により、多量の石炭灰（重量で約 70%）を品質良くかつ安全に固めることが可能となります。海洋や海岸で使用するブロックを対象に開発されたアッシュクリート技術をベースに、陸上で適用するために開発したものが、アッシュクリート Type II です。</p> <p>アッシュクリート Type II は、バッチングプラントで練り混ぜた材料を施工現場に運搬・敷き均した後に、現位置で超流体力工法による締固めを行い、1日 250m³程度の大量施工が可能です。本材料は土壌環境基準値をクリアした安全な材料で、特別な維持管理を必要とせず、長期的に安定した強固な人工地盤や路盤を造成することができます。また、石炭灰を大量リサイクルする材料であることから、建材試験センターから環境主張建設資材の適合証明（省資源型 1 級，環境保全型 1 級）を取得しています。</p> <p>これまでに宅地造成盛土や軟弱法地補強、護岸ブロック背面裏込めとして数多くの施工実績があります。</p>			
次頁	あり・なし			

技術の概要 (つづき)	【施工方法】	
		
	現場荷降ろし	敷き均し
		
	原位置での流体化	
	【施工実績】	
		
宅地造成盛土への適用事例	軟弱法地補強事例	
		
護岸ブロック背面裏込め		